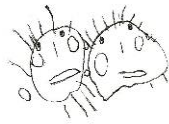


いっばだより



はじめのいば弥生

2020年6月30日

寒暖差が激しい日々ですが、皆様にはお変わりありませんか？

6月1日から学校も通常通りとなりましたが、長期間の休みが続く新1年生は重いランドセルと疲れのため、玄関になだれ込むように入る姿も見られましたが、最近は少しずつ環境にも慣れ、体力もつき、気持ちの切り替えもでき、新1年生10人のパワフルさを発揮し、羊さんに癒されながら友だち同士の関わりも少しずつ増えておりますのでご安心下さい。



さて、新型コロナウイルスも十勝地方では、落ち着いているように感じますが、学校関係では、運動会他、各行事が延期や中止となり、世の中静寂すぎて寂しすぎるので“いっばだけは・・・”と、気合を入れ“なつまつり”に向け子どもたちと計画していました。しかし現状での“飲食”“密集”は、避けた方が良い・・・の意見もあり、8月8日（土）に予定していた“いっば夏祭り”を秋に延期することになりましたので紙面にてお知らせいたします。

自粛ムードの中、はじめのいっばでもできる事をしようと6月27日（土）利用日の子どもたちと職員で、「いっば蕎麦屋」を開店いたしました。長年、幕別町駒島でそば店を経営されていた長崎先生が講師となり、子どもたちの前で蕎麦打ちを披露！！



真剣に働く姿に感動した中学生男子3人は、「師匠!! 弟子入りさせてください!! よろしくおねがいします。」と、自らの言葉で挨拶し手ほどきを受ける姿に、大人が汗を流し真剣に働く姿を見せることの大切さを痛感する時間となりました。



帯広市内の小中学校 18 校、及び札内地区 3 校のお迎えに、スタッフ 11 人総動員でお迎えに行っております。14:00～15:00 には、各学校より我が家に帰ったかのように集まり、早々に宿題を終わらせ、戸外活動を楽しんでおります。

いっばに集まる子は、いろいろなハンディをその子の個性として受け止め、どんな遊びも、みんなが一緒に楽しめる遊びへと変化させてゆく優しさを持っています。教えたわけでもないのに子どもたちの力ってすごいなあ～といつも感心しています。



～そば打ち体験談～



水回し

そば粉 1kg に対し水 500cc 弱
ウ～ン 2kg に対し水?? ?
計算も必要だね。

そば粉を指先でコロコロ回していると
一つのかたまりになった。

ワァ～魔法の手見たい!!



平たく伸ばす

○から□へ変身!!
細長い棒で自由自在・不思議



大きい包丁、見たことない!
リズムにのって、“とんとんとん”



そば苦手な子も 3 回もおかわり
行列のできるそば店大繁盛!

幼児さんの様子

約3ヶ月間、自宅にて過ごしていた未就学児の幼児さんとお母さん、本当に長い間ご協力ありがとうございました。

久しぶりに会って驚いたこと

- ・ 言葉が増えている
- ・ 体力がついている
- ・ 自分の意志を貫いている
- ・ 反抗期に突入している!!

…等々

私たちのホホもゆるみっぱなし、至福の時間を過ごしております。

そんなある日

(新設の結でのかくれんぼ中の出来事)

♪「もーいーかい？」♪・♪「もーいーいよー」

かくれんぼ中に、いままで声の出なかったSちゃんが突然、大きな声で“「もーいーいよー」”と発声!!

生まれてたった数年間で辛い思いをし人前では声が出なくなったのに、今ここで「もーいーいよー!!」と大きな声を出している・・・。

—その時をきっかけに、顔の表情も明るく、解放感でいっぱい。朝は“オハヨー”と挨拶もできるようになり、「うちのパパね、猫に引っかかれて7か所も傷があるの!!」と、子供らしい澄み切った声で、家での様子を話してくれるSちゃん。本当に本当に良かったね。

「心を開放すれば、必ず声がでる!!」と、信じて待った数か月、心から喜んでおります。

「もーいーかい？」



「みっけー」



「まーだだよー」



「みつかったー」



仲間意識が芽生えています



大人の姿を見てお手伝い



たくさんの冒険を・・・